

をもっています。

CLINICAL APPLICATIONS

このレメディは、とくに若齢者と高齢者によく使用されます。

■呼吸器系

- ・カタル性鼻炎
- ・急性/慢性気管支炎：喉や胸部に粘液が溜まって湿性ラ音が出ます。咳も弱々しくて、濃く白いネバネバした粘液がなかなか排出されません。低ポテンシーでは粘液の排出を促進し、高ポテンシーでは粘液を止める作用があります。
- ・慢性呼吸器疾患：呼吸はゼロゼロしています。怒りや食事などでも咳は悪化します。
- ・百日咳
- ・喘息
- ・肺気腫
- ・副鼻腔炎
- ・新生児の呼吸困難

■消化器系

- ・吐き気・嘔吐：通常咳に伴って起こります。吐き気が波のように襲います。舌苔が厚くついています。
- ・消化不良

■皮膚

- ・膿疱性湿疹
- ・乾癬

- ・真菌症
- ・水疱瘡

■その他

- ・パーキンソン病
- ・リウマチ
- ・腰痛：仙骨から腰にかけて激しい痛みと重苦しさがあります。
- ・うつ状態：病気に対する絶望感があります。
- ・水頭症：いつも嗜眠状態でいます。激しく落ち込んでいるようにも見えます。
- ・迷走神経の疾患：真っ青な顔色をしています。

MODALITY

▶ まっすぐに座っておくびを出すこと、嘔吐、右下に寝ることなど

◀ 暖めること、暖かい部屋、何かに包まること、怒り、朝、湿った寒さ、牛乳、春と秋など

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Asafoetida, China, Coccus, Conium, Ipecacuanha, Laurocerasus, Opium, Pulsatilla, Sepia
- ・ Antidotes : Baryta carbonica, Bryonia, Camphora, Causticum, Pulsatilla, Sepia
- ・ Compatible : Phosphorus

Apis mellifica ミツバチ [浮腫, 粘膜の炎症]

Apis mellifica L.

BACK GROUND

Apis は、膜翅目ミツバチ科ミツバチ属のセイヨウミツバチからつくられる、急性の症状によく使うレメディです。セイヨウミツバチはヨーロッパ、アフリカ、中近東に自然分布があり、現在では養蜂のため世界中で飼育されています。

セイヨウミツバチのコロニーには、外観の異なる3種類のミツバチがいます。1匹の女王、1,000匹ほどの雄蜂、数万匹の働き蜂です。働き蜂は女王蜂と同じく雌ですが、生殖能力がなく、形態的に花で蜜や花粉を集めるのに適しています。女王蜂は採集行動をまったくしないで、巣の中では産卵が主な仕事です。また女

王物質を分泌して、働き蜂の卵巣の発達を抑え集団の求心力となります。働き蜂は、それ以外のすべての仕事を忙しくこなします。雄蜂は、繁殖期以外にはあまり現れず、未交尾の女王蜂との交尾のためにだけいます。そのため巣の中の仕事はいっさいしません。餌は働き蜂からもらえるのですが、繁殖期を過ぎると働き蜂によって追い出されることがよくあります。

ホメオパシーのレメディの原料として使用するのは、働き蜂の雌蜂です。なぜなら、雌の働き蜂だけが刺すからです。体長はおよそ13mmです。

働き蜂は、花から花へと忙しそうに飛び回り、巣に進入しようとする相手には猛然と挑んで戦います。巣



の内部は、一定した温度を保つ環境構造になっており、温度が上がると、働き蜂たちが頭を巣の入り口に向け、羽を常にふるわせて風を通しています。蜂は暑いのを嫌います。

蜂に刺された経験は誰でもあることと思いますが、その症状はそのままレメディに使えます。1匹のミツバチが人を刺すと、0.14mgの蜂毒液が出ます。毒性は強いのですが、量が少ないので、アナフィラキシーショックがなければ、大事にいたることはありません。

蜂に刺された場合の症状は、蜂毒による局所の疼痛、腫脹、発赤が起こります。眼を刺された場合には角膜炎、虹彩炎などを起こします。

一度に多くの蜂に刺された場合には、悪心、嘔吐、下痢、頻脈、動悸、呼吸困難、心筋梗塞、急性腎不全を引き起こします。

以前に蜂に刺されたことのある場合には、蜂毒酵素蛋白に対するIgE抗体が体内につくられており、アレルギー反応が起こることがあります。蜂毒による死亡例はアナフィラキシーショックによるもので、適切な処置をしないと15分以内に咽頭浮腫、気管支痙攣、呼吸困難、意識混濁を来して2、3時間で死亡します。蜂毒には共通の抗原性が推定されていることから、以前に刺された蜂と違う蜂に刺されてもショックは起こりえます。

蜂毒は、今から2,000年以上前から古代エジプト人やバビロニア人が、治療を目的に利用していました。ヒポクラテスも蜂毒の効果を記述しています。中世のヨーロッパでも、リウマチに効果を上げていたようです。

現在では、世界各地で各種治療やスポーツ選手の滋養に使用され、効果を上げています。蜂毒には、抗菌作用、抗炎症作用、平滑筋収縮作用、血管透過性亢進作用、鎮痛作用、血圧安定作用、溶血作用、強壯作用、免疫賦活作用などがあります。蜂針療法の適用になる主な疾患には、各種化膿疾患、風邪、皮下出血、リウマチ、神経痛、むち打ち症、腰痛、五十肩、筋肉痛、

腱鞘炎、膝関節炎、疲労回復、胃腸炎、膀胱炎、耳鳴、歯槽膿漏、痛風、円形脱毛症、腫瘍などがあります。

ドイツ国立癌研究所の発表では、職業別癌発生率の研究において、養蜂家の癌発生率が著しく小さく、その理由としては体内にあるミツバチの毒による影響からだ、と結論づけています。

Apisの体内にある有効成分は、約50種類くらいが知られており、その多くがヒトも体内にもっているものです。これら複数の成分が相乗し合って効果を発揮します。主なものには、次のようなものがあります。

- ・ホスホリパーゼA₂：血管透過性を亢進し、ヒスタミンの放出や細胞溶解を誘発させます。
- ・ヒアルロニダーゼ：結合組織における透過性を高めます。
- ・各種ペプチドと蛋白質：代表的ものには、メリチン、アパミン、MCDペプチドなどがあります。
- ・メリチン：クラール様作用とヒスタミンの放出作用
- ・アパミン：神経毒作用
- ・MCD（肥満細胞脱顆粒）ペプチド：好塩基球と肥満細胞の脱顆粒に参与しています。痛みと炎症を引き起こします。

この他にも、ヒスタミン、ドーパミン、ノルエピネフリン、セロトニンなど炎症や浮腫に関連した成分が豊富に含まれています。

MATERIAL

雌のミツバチ全体

FIRST PROVING

Dr.Humphries (1852, ミツバチの針毒), Central New York State Homoeopathy Society (ミツバチ全体). いちばん最初に行われたミツバチの針毒のみのレメディは, Apis venenum purum です。

MIND

ApisのConstitutionalタイプは、いつもせかせかと忙しそうで、落ち着きがなく、神経質で、新参者に対して嫉妬深く、過剰に防衛しようとします。また、外部からの妨害には怒りが爆発します。ミツバチのように熱に対する感受性が強く、涼しい環境を好みます。暑い環境で症状が悪化します。**喉が渴きません**。牛乳は好きです。ほんのわずかでも触れられるのを好みます。

AFFINITY

Apisは、目・顔・喉・卵巣組織の粘膜細胞にとくに強く作用します。右側優勢レメディです。症状が進

行すると右から左へ移ることがあります。

CLINICAL APPLICATIONS

■皮膚，浮腫

- ・ あらゆるタイプの浮腫，水腫：アレルギーや炎症性。Apisは、焼けるような、刺すような痛みのある炎症、とくに皮膚が浮腫状に腫れて、触れると過敏に反応する場合に使用されます。
- ・ アナフィラキシーショック
- ・ 血管浮腫：顔面の浮腫。ゴールデンやミニダックスでよく起こります。非常に効果的です。
- ・ 蜂刺され
- ・ 腹水，胸水
- ・ 肺水腫：うっ血性心不全によるもの
- ・ 喉が渇かない発熱
- ・ 日焼け
- ・ じん麻疹：焼けるような痛みがあります。
- ・ 睡眠障害

■粘膜の炎症

- ・ 胸膜炎
- ・ 結膜炎，角膜炎，眼瞼麦粒腫

■泌尿生殖器系

- ・ 尿停滞：とくに若齢者
- ・ 卵巣囊腫，卵巣腫瘍：とくに右側
- ・ 陰嚢水腫
- ・ 急性腎炎，糸球体腎炎：全身の浮腫を伴うもの
- ・ 右の卵巣炎
- ・ 膀胱炎：排尿中に焼けるような痛みを感じます。咳をすると尿漏れしてしまうことがあります。
- ・ 膣炎

Apisは、作用がすばやく、長くは続きません。そのため急性のケースには、10分おきに投与することもあります。

また、膜翅目の昆虫による毒にアレルギーを示す患者の場合には、かなり高めのポテンシーを使用します。それは、免疫原性のメリチンとホスホリパーゼA₂がマザーティンクチャーに含まれているからです。

MODALITY

- 涼しい環境，冷水浴，運動，まっすぐに座ることなど
- あらゆるタイプの暑さ，暑い気候，火，午後3時～4時，右側，患部の圧迫や触ること，睡眠後，横になることなど

RELATIONS

- ・ Antidotes：Natrum muriaticum，タマネギ，アン



モニア，Lachesis，Ledum，Ipecacuanha

- ・ It Antidotes：Cantharis，Iodium，China，Digitalis，Natrum muriaticumは、Apisの慢性状態です。
 - ・ Complementary remedies：Arnica，Arsenicum album，Helleborus niger，Natrum muriaticum，Mercurius cyanatus，Pulsatillaなど
- またApisは、多くのレメディと併用・相補的に使います。
- ・ It follows well：Bryonia，Helleborus niger，Iodium，Hepar sulphur，Mercurius，Lycopodium，Sulphur
 - ・ Is followed well by：Graphites，Kali bichromicum，Arsenicum album，Phosphorus，Stramonium，Lycopodium，Sulphur，Iodium
 - ・ Incompatible：Rhus toxicodendron

●主な昆虫のレメディ

昆虫のレメディには、一般的に作用発現の早いものが多くあります。

- ・ Blattaria (Cockroaches ゴキブリ)：Blatta americana，Blatta orientalis
- ・ Mantodea (Mantis カマキリ)：Mantis religiosa
- ・ Anoplura (Lice シラミ)：Pediculus capitis
- ・ Siphonaptera (Fleas ノミ)：Pulex canis，Pulex irritans
- ・ Heteroptera (Bugs 小虫)：Cimex lectularius
- ・ Homoptera (Mealy Bugs イボタムシ，コナカイガラムシ)：Aphis chenopodii glauci，Coccus cacti，Chinaria canadensis
- ・ Formicidae (Ants アリ)：Formica rufa，Formica nigra
- ・ Coleoptera (Beetles 鞘翅目甲虫類)：Melolontha vulgaris，Meloe majalis，Cantharis，Cantharidinum，Doryphora decemlineata，Coccinella septempunctata，Lamprohiza splendidula，Lucanus cervus
- ・ Apidae (Bees ハチ)：Apis (male)，Apis mellifica，Apis regia，Apis sinensis，Bombus sylvarum，Melcum sale，Propolis
- ・ Vespidae (Wasps スズメバチ)：Polistes pallipes，Vespa crabro，Vespula germanica，Vespa vulgaris

- ・ Diptera (Flies 飛ぶ虫) : *Culex musca*, *Musca domestica*, *Oestrus cameli*
- ・ Lepidoptera (Butterflies 蝶) : *Bombyx chrysorrhea*, *Bombyx processionea*, *Limenitis bredowii californica*

- ・ Spiders (クモ) : *Aranea diadema*, *Aranea ixobola*, *Aranea scinencia*, *Lactrodectus mactans*, *Lactrodectus hasselti*, *Theridion curassavicum*, *Tarentula hispanica*, *Mygale lasiodora*, *Atrax robustus*, *Tarentula cubensis*

Apocynum cannabinum ヘンブドッグベーン [寒気と浮腫]

Apocynum cannabinum L.

Apocynum hypericifolium Ait., *Apocynum sibiricum* Jacq., *Apocynum pubescentis* R.Br.

BACK GROUND

Apocynum cannabinum は、北米原産のキョウチクトウ科バシクルモン属の多年草、ヘンブドッグベーンです。

一般的には、Hemp dogbane, Black hemp, Black Indian hemp, Canadian hemp, American hemp, Amy-root, Bowmans root, Bitterroot, Indian-physic, Rheumatism weed, Milkweed, Wild cotton, Choctaw-root などとも呼ばれています。



(K)

この植物は、草原地帯や標高2,000mまでの山麓の丘陵地帯に自生しています。砂質土壌を好みます。牧場や小川のほとり、用水路、牧草地、雑木林にも見られます。

高さは60～120cmで、*Cannabis indica* に似た葉の形をしています。葉は、秋になると黄色く色づきます。根は太く、塊根状になっています。

開花期は6～8月で、緑がかった白色の小さな花を咲かせます。この植物を傷つけると、乳白色の液が出てきます。

通常、動物は、この植物の苦く、ネバネバした乳白

色の液汁を嫌います。しかし、羊は他の動物よりもこの植物の葉をたくさん食べてしまうことがあり、中毒を起こすことがあります。

この植物は、有毒植物です。また、この植物名にhemp麻布と付いているとおり、アメリカ先住民の間では、ロープをつくるのに使われていました。

ドッグベーンは、心臓に作用する配糖体を含んでいるために、ジギトキシンと同じような作用をもっています。ドッグベーンの主な毒性成分には、シマリンがあります。これは、かつて心臓の治療薬として用いられていたことがあります。

この植物を摂取した動物は、およそ6～12時間以内に死にいたります。致死量は、体重1kgあたりおよそ0.5mgですが、少量の摂取で中毒死した牛もいます。葉は、新鮮でも乾燥しても毒性は保ちます。

主な中毒症状は、次のようなものがあります。頻脈、瞳孔散大、嘔吐、チアノーゼ、進行性の虚脱、痙攣、昏睡、心筋変性、心停止です。

このほか、ホメオパシーの原料となるもので強心配糖体をもつのは、*Digitalis*, *Adonis*, *Helleborus*, *Cactus grandiflorus*, *Magnolia*, *Cheiranthus*, *Crataegus oxyacantha* などがあります。

MATERIAL

塊根あるいは根を含む全草

FIRST PROVING

Freitag, Peters, Marcy

MIND

Apocynum cannabinum タイプは、非常に衰弱した感じがあります。寒気がして、汗や尿などの排泄系が減少します。寒さに弱いです。喉は非常に渴きますが、